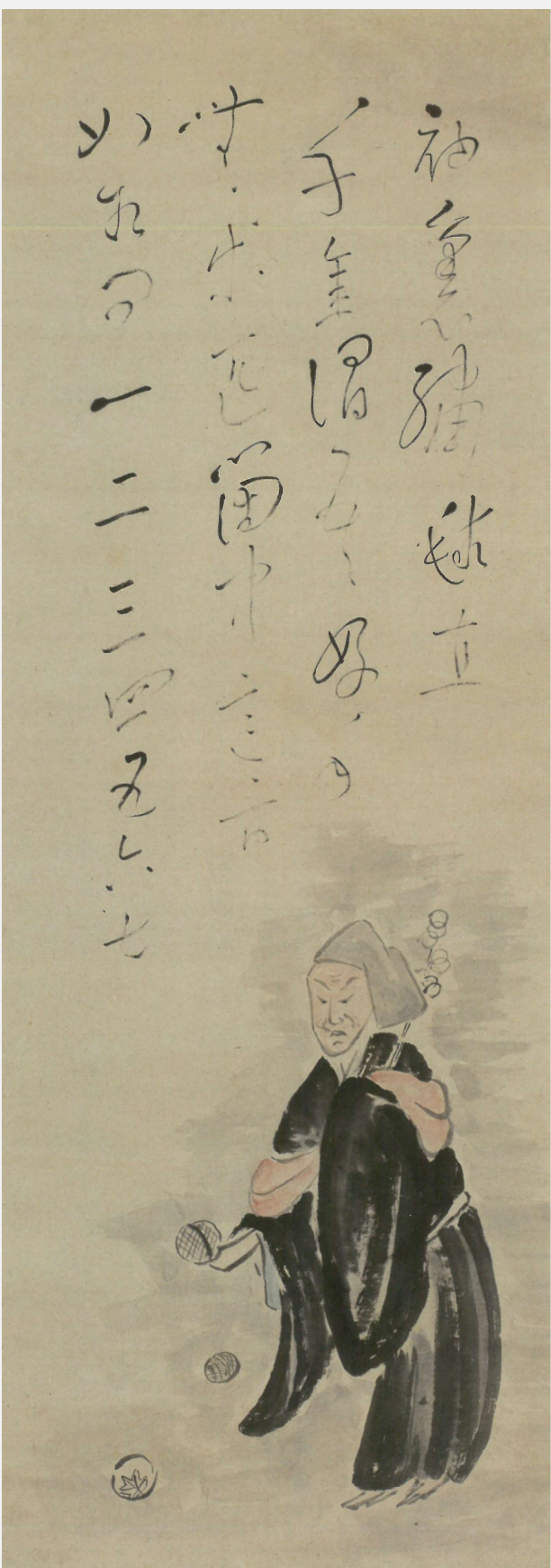


第34回国民文化祭・にいがた2019
第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会

援業
応事

平成30年度にいがた文化の記憶館 企画展示

良寛再発見



良寛 《自画像 良寛像 袖裏繡毬直千金》 個人蔵

良寛の自画像に賛が入った軸物をはじめ、良寛賛入りの父山本以南筆の芭蕉像など貴重な作品を、相馬御風や會津八一ら良寛研究者の作品とともに紹介します。

2019年
2/22(金) ▶ 3/21(木) 祝

会期が変更になりました。

開館時間 10:00 ~ 18:00 (入館は 17:30 まで)
休館日 月曜日
入館料 一般 500 円、学生〔高校生以上〕 300 円、
中学生以下 無料
※ 20 名以上の団体は、各料金から 2 割引き

主催 催 にいがた文化の記憶館、新潟日報社
共催 催 新潟日報美術振興財団、NIT、BSN新潟放送
協力企業 田村紙商事株式会社
協力 全国良寛会
監修 小島 正芳 氏 (良寛研究家・全国良寛会副会長・
一般財団法人良寛会理事長)

良寛再発見

来年2020年は、良寛（1758 - 1831年）が没して190年になります。子どもたちと手毬をついたり生きとし生けるものに慈愛の手を差し伸べた良寛は、今も多くの人々に親しまれています。良寛は出雲崎の名主の跡取りとして生まれましたが、18歳で出家し、家業は弟に託しました。曹洞宗の僧として諸国で修業した後、39歳で故郷の越後に戻り、燕市国上山に庵を結んで暮らしました。自分の寺を持たず、日が暮れるまで子どもたちと手毬で遊び、人々から親しまれていました。しかし一方では、明治時代に仏教哲学者・原坦山（1819 - 1892年）が、「日本で仏学の蘊奥を究めし者、空海以来、唯この人のみ」と評したように良寛は優れた境涯を持つ禅僧でした。

會津八一（1881 - 1956年）は青年の頃、正岡子規の根岸庵を訪ね、「我が郷の良寛禅師を知りたまふや」とただし、村山半牧（1828 - 1868年）の『僧良寛歌集』を贈ったと記しています。良寛が広く知られ始めたのはその頃からです。八一は糸魚川に退住していた相馬御風（1883 - 1950年）に良寛研究を勧めたといいます。『大愚良寛』を著した御風は、「本物の自分」を取り戻すために、良寛の生き方に倣おうとしました。八一と御風は早稲田大学での同級生であり、2人ともその専攻は西洋近代文学でした。ここに、従来の古めかしい中国風の文人とは異なる、西欧的ヒューマンイズムの視点からする新たな良寛の人間像についての解釈が生まれました。良寛こそが、伝統と近代にまたがる新潟の文人の理想型です。

本展は、にいがた文化の記憶館の座標軸をなす人物としての良寛を再発見するための企画展示です。



次回の企画展示
子どものマンガの世界から
 会期 2019年4月2日⑩ - 5月26日⑩
 戦前・戦後に子どものものだったマンガは、雑誌の隆盛により発展し、子どもだけのものではなくなりました。マンガの歴史と共に新潟のマンガ家を紹介します。

會津八一記念館のご案内
八一を知る 八一がわかる
一そのマルチな業績と人生一
 会期 2018年12月20日⑩ - 2019年3月24日⑩

関連イベント I

当館理事 長谷川義明氏 良寛研究者 小島正芳氏による対談
「良寛再発見」

長年良寛研究・顕彰活動に携わっていらっしゃるお二人から、良寛の「心」や「書」についてわかりやすくお話ししていただけます。



3月19日[火]午後2時～3時30分(予定)
会場 | 新潟日報メディアシップ 2階 日報ホール
参加費 | 500円 (会期中有効の企画展観覧券付き)
※パスポート会員は無料
定員 | 100名 ※先着順、要事前申し込み

【お申し込み方法】
 メール、FAX、往復はがきのいずれかに、イベント名と「①氏名、②〒・住所、③電話(FAX)番号」をご記入の上、以下の宛て先までお送りください。1通につき1名様までのご応募とします。当館ホームページのお問い合わせフォームからもお申し込みできます。
 〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 新潟日報メディアシップ5階
 FAX 025-250-7040 / E-MAIL: kiokukan@honey.ocn.ne.jp

関連イベント II

月いちレクチャー (学芸員による解説会)
 ① 2月23日④ 「良寛顕彰の系譜(1)」
 ② 3月16日④ 「良寛顕彰の系譜(2)」
 各回とも、午後2時から(約1時間)
会場 | にいがた文化の記憶館 展示室
参加費 | 無料 (当日の入館券が必要。パスポート会員は不要)
※事前申込み不要 (当日直接当館へお越しください)

EVENT INFORMATION

にいがた文化の記憶館 主催
神林恒道館長 美術講座 2019
古都の仏たち 會津八一のうたとともに
講師 | 神林 恒道 (にいがた文化の記憶館館長・會津八一記念館館長・大阪大学名誉教授)
開催日 | ①5/9⑧ 日本美術の始まり—法隆寺から薬師寺へ
 ②6/20⑧ 天平彫刻の理想主義—東大寺と興福寺
 ③7/4⑧ 立休曼荼羅の世界—東寺と平等院
 ④8/22⑧ 鎌倉彫刻のリアリズム—運慶と快慶
※各回とも、午後2時～3時30分(予定)
会場 | 新潟日報メディアシップ 2階 日報ホール
参加費 | 各回1,500円 (当日受付にてお支払いください)
※ 初回に4回分(6,000円)一括でお支払い頂いた方には、飛鳥園仏像絵はがきセット(8枚入り500円)をプレゼント。(後日の返金はありません。)
定員 | 150名 ※先着順、要事前申し込み
締切 | 各回とも開催日の1週間前まで
お申し込み | メール、FAX、往復はがきのいずれかに「美術講座 古都の仏たち」と明記し、「①氏名、②〒・住所、③電話(FAX)番号、④受講希望日」をご記入の上、にいがた文化の記憶館まで、1通につき1名様までのご応募とします。

* 展覧会名やイベント名は仮称です。会期や事業の内容などは変更することがあります。

NMMC にいがた文化の記憶館
 Niigata Memorial Museum of Culture
 〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1
 新潟日報メディアシップ5階
 TEL. 025-250-7171 FAX. 025-250-7040
 URL: http://nmmc.jp

～ご来館のお客様へ～
 開館時間 (10:00～18:00、月曜休館)
 以外は、新潟日報メディアシップのエレベーターは5階に止まりませんので、ご注意ください。

割引券
 一般・学生・各団体
 (切取不可)

交通のご案内
 新潟駅から タクシー 約5分 徒歩 約15分
 新潟空港から タクシー 約15分

駐車場ののご案内
 メディアシップ駐車場 (24時間)
 220円/30分 (夜間最大料金あり)
 時間貸しスペースは3、4階(77台)です。
 万代シティ共通駐車サービス券をご利用いただけます。
 当館では駐車券の無料券を発行していません。予めご了承ください。
 周辺には、万代シティ駐車場、朱鷺メッセ駐車場などがございます。

